

時間割コード	G1D11107	開講年度	2026				
授業題目	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (A) (初級)				担当教員	宮坂 るみ	
英文授業名	Academic English Phase I (A)						
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・2時限	対象学生	S I (7)
講義室	共通教育 6 3 講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学DP						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	上述の目標を達成するために、Academic Reading及びAcademic Writingの演習を行う。 ・Academic Reading: アカデミックレベルの語彙を修得し、文法や構文の正しい理解を基に学術的な英文を読解する。 ・Academic Writing: 文法・語法、コロケーションの演習、アカデミックレベルの語彙の確認、自然な英語表現を身につけるための演習を行いながら、正確かつ的確な英文を書く。 *本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。						
(5)授業のキーワード	Academic Reading Academic Writing Natural Expression						
(6)授業計画	第1回 オリエンテーション Unit1 What Are Sustainable Development Goals? 第2回 Unit1 What Are Sustainable Development Goals? 第3回 Unit2 What Is a Woman-Friendly Society? /Quiz1 第4回 Unit2 What Is a Woman-Friendly Society? 第5回 Unit3 Does Saving Infant's Lives Slow Population Growth? /Quiz2/Writing1提出 第6回 Unit3 Does Saving Infant's Lives Slow Population Growth? 第7回 Unit4 Can Technology Solve the Water Crisis? /Quiz3 第8回 Unit4 Can Technology Solve the Water Crisis? 第9回 Unit5 How Can Quality Education for All Be Achieved? /Quiz4 第10回 Unit5 How Can Quality Education for All Be Achieved?/Writing2提出 第11回 Unit6 What Does It Mean to Be a Sustainable City? /Quiz5 第12回 Unit6 What Does It Mean to Be a Sustainable City? 第13回 Unit7 Will Black Companies Survive in the Future? /Quiz6 第14回 Unit7 Will Black Companies Survive in the Future? 第15回 まとめ 授業アンケート /Quiz7						
(7)成績評価の方法	期末テスト (Readingテスト/ Final Discussion/Final Writing) 40% クイズ 35% ライティング課題 25% 各課題のルーブリックは授業内で提示します。 この授業の達成目標に到達するために必要な出席回数に満たない場合は、成績評価の対象外とし、評点は0点となります。						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	・この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・授業各回で事前事後学習について指示します。また、授業で学んだ語彙・表現・文法事項などを復習して下さい。						
(10)履修上の注意	PCを使用しますので持参してください。						
(11)質問,相談への対応	不明な点や疑問があれば遠慮せずに尋ねてください。積極的な学修への姿勢が結果を導きます。メール (rumimiyasaka@shinshu-u.ac.jp)にて質問相談は随時受け付けますが、必要に応じて面談も行います。						
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外(評点は0点)となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。						

(12)授業への出席	・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	「SDGs×Discussion SDGsで学ぶ英語ディスカッション」 978-4-7647-4150-8
【参考書】	授業内で紹介します。